

済生会松阪総合病院を受診された患者様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	多項目自動血球分析装置 XN-3000 における血小板凝集検出能に関する検討
当院の研究責任者	福本 義輝
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	XN-3000 では血小板凝集を検出すると、装置上で異常度合いを Q-flag 値として数値化し、100 以上で PLT-clumps の警告メッセージが発生し、血小板値が自動で再測定されます。その場合には目視法で確認しますが、実際には血小板凝集を認めない症例も存在します。PLT-clumps が発生した場合において、自動再検前後の Q-flag 値および PLT 値と目視法との関係について検討しました。
調査データ 該当期間	2022 年 8 月～2023 年 1 月
研究の方法 (使用する資料等)	該当期間中に装置での初検値にて PLT-clumps の警告メッセージが発生した検体を対象とし、血液塗抹標本を作製して凝集の有無を目視法で判定します。Q-Flag 値による血小板凝集の有無の割合を確認します。また、Q-Flag 値および PLT 値の再検前後での増加率が算出されるため、増加率による目視法での血小板凝集の有無の割合を比較します。その他、Q-flag 値および PLT 値を用いて、目視法での血小板凝集の有無から、有意差検定と感度特異度の算出等も行います。
試料・情報の 他の医療機関への提供	試料・情報の提供なし
個人情報の取り扱い	氏名ではなく、通し番号で管理しています。使用する情報から個人を特定できる情報は削除し、学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。個人情報の管理を厳重に努めます。
本研究に係る資金(利益相反)	なし
お問合せ先	当院血液検査室 内線 266